

## 平成 26 年度岩舟町地域協議会が提出した「意見書」に対する回答

昨年度岩舟町地域協議会から栃木市に提出した「意見書」(5～6 ページ参照) に対する市からの回答の要約です。班内回覧をお願いいたします。

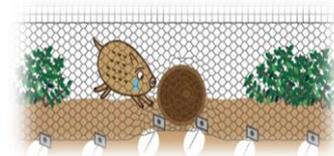


問合せ先：岩舟総合支所 地域まちづくり課

TEL55-7751 Fax55-4910

意見項目	1 通学路の安全対策について
担当課	教育委員会教育総務課
回答	<p>これまでも学校が実施する通学路の安全点検にもとづき、即効性のある対策を実施してきましたが、加えて歩道整備などの抜本的な対策を実施していく必要があることから「栃木市通学路交通安全プログラム」を策定し、学校、警察、道路管理者、地域が連携して通学路の安全確保に取り組む体制を整えました。</p> <p>このプログラムを進めることによって、取組体制や予算措置など、ご提案いただいた制度の内容に沿った対応ができるものと思われまます。</p> <p>また、スクールバスの導入についてですが、限られた時間の中で大勢の児童生徒を送迎するためには、相当なバスの数が必要となるため、大変難しいと思います。</p> <p>子どもたちを事故や犯罪から守るため、今まで以上に関係者との連携、見守り体制の充実を図りたいと考えておりますので、地域の皆様のご協力をお願いいたします。</p>

意見項目	2 獣害対策について
担当課	産業振興部農林課
回答	<p>「栃木市獣害対策設備設置費補助金」制度を見直し、交付対象を農業者以外にも拡大し、農地以外の場所についても補助対象とするよう制度を改め、平成 27 年度から対応してまいります。</p> <p>捕獲体制の強化については、捕獲許可範囲を広げるなど捕獲強化を図っております。また、捕獲経費の増額については、捕獲従事者の意欲向上を図るため、予算確保に努めてまいります。</p> <p>里山の保全活動に対する補助制度の整備については、現在の県などの補助制度に加えて、市単独の補助制度の創設を検討してまいります。</p> <p>間伐材等を利用した山林資源活用センターの設置については、近隣市町の事例などを調査して研究を進め、多面的機能支払交付金(旧制度：農地・水保全管理支払交付金)については、今後、説明会等を設けて推進に努めてまいります。</p>



意見項目	3 三轟山を中心とした観光振興について
担当課	産業振興部 商工観光課
回答	<p>付加価値を付けた宿泊施設の整備については、市が整備することは難しいと考えております。まずは、観光客へ近隣宿泊施設等の情報を提供し、滞在時間を長くすることにより、観光客の増加につなげてまいりたいと考えております。</p> <p>ふれあいバスの運行については、昨年、岩舟地域への運行が開始され、みかも山周辺にバスで訪れることが可能となりました。JR岩舟駅からみかも山周辺へ行くには、バスの乗り継ぎが必要な状況ではありますが、今後、利用状況や利用者の要望等を踏まえながら、運行ルートについて、改善を図ってまいります。</p> <p>ワイナリーの整備については、合併前の計画に基づき、現在大平地域において、将来的なワイナリー整備に向け、ワイン用のブドウ生産が始められておりますので、今後岩舟地域と連携しながら、ブドウを活用した観光拠点づくりを進め、施設整備の方向性を検討してまいります。</p> <p>最後にみかも山公園の松くい虫被害対策については、昨年11月に栃木県知事及び関係部署に対して、対策の実施を要望いたしました。</p>

意見項目	4 岩舟駅・静和駅周辺の開発について
担当課	岩舟総合支所 都市建設課
回答	<p>岩舟駅周辺については、道路を拡幅し、住宅地、商業地の整備検討を行うという市の総合計画に基づき、現在、駅北側の道路拡幅を進めております。また、南側については、桐生岩舟線までの区域を計画区域として、駅前広場の新設やアクセス道路の整備等、土地区画整理事業による計画的な土地利用について、検討を行ってまいります。</p> <p>静和駅周辺については、緑地や公園等の都市基盤整備を進めることが必要と考えられますので、事業実施に向けた機運を高めながら、静和駅周辺整備基本構想の策定について進めてまいります。</p>



意見項目	5 岩藤大規模開発について
担当課	総合政策課
回答	<p>岩藤大規模開発は、社会・経済情勢の変化により、当初の開発計画をそのまま進めることは難しく、見直しが必要となりますが、地理的好条件にあることから、今回の市の総合計画の策定において、産業集積ゾーンとしての位置付けを行いました。</p>

現段階では、再事業化における本市としての基本方針が定まっておられませんので、事業主体、事業手法、開発目的を明確化し、地元との合意形成を進めながら事業の推進を図ってまいります。

本市においては、他に多数の開発が計画されており、実現可能性や財政状況を考慮しつつ、着手時期の調整を行うこととなりますので、岩藤開発の再事業化については、長期的な取り組みとして対応してまいります。

<b>意見項目</b>	<b>6 認知症対策の個別支援策について</b>
<b>担当課</b>	保健福祉部高齢福祉課
<b>回答</b>	<p>本市においては、ひとり暮らし高齢者等の安否確認・見守りのため、高齢者ふれあい相談員事業や配食サービス事業などを実施しており、また地域包括支援センターにおいて、認知症に関する相談等に対応しております。</p> <p>ご提案いただいたGPS機能付き機器の貸与につきましては、利用料金等貸与に関する課題が多くあり、他の自治体の導入事例でも、利用者が少ない状況にあります。</p> <p>このようなことから、認知症による徘徊高齢者の対策の一つとして、今後、徘徊高齢者の早期発見、見守り対策につながるよう、個人情報を入れたネックレス式及びキーホルダー式のカプセルの配布について検討してまいります。</p>

<b>意見項目</b>	<b>7 子どもの居場所の整備について</b> <b>(1) 児童館の設置</b>
<b>担当課</b>	保健福祉部こども課
<b>回答</b>	<p>地域の子育て支援の拠点として、また子どもの健全育成の場や放課後・休日の居場所として、児童館の期待される役割は大きいと認識しております。</p> <p>子育て環境の一層の充実を図るため、児童館を含めた子育て関連施設の整備については、既存の保育園や子育て支援センター、学童保育、その他子ども子育て施設等の設置状況を勘案して、平成27年度に本市児童館整備計画を策定した上で、総合的な観点から検討していきたいと考えております。</p>

<b>意見項目</b>	<b>7 子どもの居場所の整備について</b> <b>(2) 公園、水遊び場の整備</b>
<b>担当課</b>	岩舟総合支所 都市建設課
<b>回答</b>	<p>身近に子どもを遊ばせるのに適した公園につきましては、こどもの健全な発育の向上のための親子での憩いの場や、地域コミュニケーション活動の場、そして健康増進の場など様々な役割を持つ施設であると考えております。</p>

で、さらなるご利用が図れる施設とすることが重要であります。  
 このようなことから、地域に密着した公園の充実を図るため、既存の公園の再整備や新規整備におきまして、遊具等の整備を計画してまいります。



また、今後のまちづくりとして事業が想定されております岩舟駅周辺地区や静和駅周辺地区等での整備の際には、皆様のご要望に即した公園施設の設置について検討してまいります。

なお、遊具設置及び親水公園の整備候補地として、静和保育所跡地と岩舟総合運動公園がご提案されておりますが、静和保育所跡地では手狭であると思いますので、岩舟総合運動公園が適していると考えております。

意見項目	8 図書室の充実について
担当課	教育委員会 生涯学習課
回答	<p>平成 27 年 3 月 1 日から旧公民館図書室を「栃木市図書館岩舟館」として運営を開始し、岩舟館を含めた市内 6 つの図書館と連携して運営できるようになりました。</p> <p>この統合により、貸出カードも統一し、1 枚のカードで市内 6 館の図書館を共通利用することが可能となったとともに、市内の他の図書館で所蔵している資料の相互利用が可能となったほか、岩舟館にない図書資料や CD、DVD といった視聴覚資料も岩舟館やインターネットで予約し、岩舟館に取寄せて貸し出しが可能になりました。</p> <p>なお、栃木市の他の図書館は、すべて同一の指定管理者が運営しておりますが、岩舟館も来年度から指定管理を導入する予定で、他の図書館との連携が強化され、サービスの向上が図られると考えております。</p>

意見項目	9 消防団員の確保について
担当課	消防本部消防総務課
回答	<p>市では時代に即した消防団組織とするため、既存の各方面隊に加え、女性分団を創設し、組織の充実強化を図っております。</p> <p>また、団員の約 70% が被雇用者であることから、事業所の理解を深め、従業員の入団促進が期待できる、消防団協力事業所表示制度のより一層の普及推進を図ってまいります。</p> <p>更に消防団車両へのとち介ステッカー貼付やフェイスブックでの活動状況紹介など団員確保に向けた取り組みを実施しております。</p> <p>今後においても、消防団員の装備品の充実、飲食店等における割引等のサービスを受けられる「消防団員サポート事業」等の施策も検討し、安定した消防団員の確保に繋げていきたいと考えております。</p>





岩舟町地域協議会では、総務産業建設班、教育厚生班の二班の部会を設け、岩舟地域の課題を検討してきました。それらの課題について「意見書」をまとめ、市に提出しました。

岩舟地域でまとめた9つの意見の内容は以下のとおりです。

### 1 通学路の安全対策について

#### ①「仮称 通学路安全対策提案制度」の導入の要望

本制度は、地域ごとに一定の予算枠を設け、保護者や学校関係者の協議によって、通学路の安全対策を優先的に整備すべき箇所を絞り込み、歩道の整備や路側帯へのカラー舗装、横断歩道のハンパ化、中学生の下校時の安全確保のための防犯灯設置等といった事業を予算の範囲内で実施する制度です。

#### ②スクールバス導入の要望

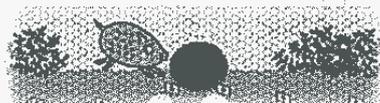
通学路を歩く子供たちの人数も

減り、学校から離れた地域では、小学生が一人で下校する区間もあまりありません。誘拐やわいせつ事件等が多発している今日では、防犯面の安全対策も講じる必要があると考えられることから要望します。

### 2 獣害対策について

#### ①「獣害対策設備設置費補助金」制度の拡充の要望

一般家庭を含めた集落への侵入防止柵の設置等に対する補助事業の拡大と、市の鳥獣被害防止計画に基づく猟友会等と連携した捕獲体制の強化、捕獲報償金の増額を要望します。



また、この問題は里山の管理も不可欠であることから、樹木の間伐や下刈りなど、里山の保全活動に対する補助制度の整備と、間伐材等を利用してバイオマスエネルギーを生産する山林資源を活用できる施設の設置についても要望します。

### 3 三ヶ山を中心とした観光振興について

#### ①公園散策や農業体験等の付加価値を付けた宿泊施設を整備する

提案  
佐野市のアウトレット付近には、遠方からの購買客を見込み、ビジネスホテルが数軒ありますが、岩舟地域には宿泊施設がありません。フルーツパーク周辺に単なる宿泊だけでなく、公園散策や農業体験等の付加価値を付けた宿泊施設を整備することで、三ヶ山の東側に人を呼び込むことが期待できます。

#### ②岩舟駅や静和駅と三ヶ山をつなぐバスの運行の提案

休日・祝日には、鉄道で三ヶ山を訪れる観光客が多いので、JR岩舟駅や東武静和駅と三ヶ山を直結するふれあいバスを運行することで、多くの観光客の来場が期待できます。

#### ③新たなブドウの活用方法についての提案

今年2月の雪害によりブドウの生産体制が崩壊しつつあることから、ワイナリーを建設して、観光客が収穫したブドウをワインにし、個別のラベルを張って収穫者に送る「マイワイン」づくり事業を始める。新たなブドウの活用策を講じること、生産体制の立て直しが期待できます。



#### ④みかも山公園内の松の枯損対策の要望

近年松くい虫の被害による松の損傷がおびただしく、著しく景観を損ねています。このような環境の一刻も早い改善について、栃木県に働きかけをするよう要望します。

### 4 岩舟駅・静和駅周辺の開発について

岩舟駅周辺の地域については、駅南口を開設し、新たに住宅地を開発することを基本とした施策を展開するよう要望します。

静和駅の西側については、緊急車両の入れない狭隘道路が多く、災害時に被害を拡大させるおそれもあり、区画整理等の手法を用いた住環境整備計画の策定を要望します。

### 5 岩藤大規模開発について

岩舟、藤岡の両地域に跨る東武鉄道の沿線地域は、産・緑・住の複合都市開発を目指す地域として、これまで旧両町で「大規模開発連絡協議会」を設置し、事業化に向けた準備が行われてきましたが、経済情勢等の変化により、10年以上休止状態となっております。

市の総合計画にも新たな財源を確保するため、企業誘致を推進するとされていきますが、農業振興地域でもなく、開発を制限する要因の少ない当該地域は、その施策を展開する適地であると考えられますので、再度事業化を要望します。

## 6 認知症対策の個別支援策について

認知症対策については認知症サポーター養成等で地域のサポートを手厚くしているところですが、住宅の散在するエリアについては、地域のサポートも限界があります。これまでの相談事例から、認知症患者を持つ世帯では、特に徘徊行動によって生じる事件や事故の発生に心を砕いております。そうした心配を少しでも解消するため個別支援策として、GPSを利用した居場所の確認システムを構築し、そのシステム機器の貸与制度を導入するよう要望します。

徘徊行動のある認知症患者を抱える世帯では、日々対応に苦慮しているの  
で、経済的な負担の軽減も



含め、多くの世帯が利用できるような制度導入を要望します。

## 7 子どもの居場所の整備について

### ①児童館の設置の要望

岩舟地域には児童館がありませんが、他地域の児童館の様子では、子どもを持つ保護者の子育てと憩いの場として多くの方が利用し、また就学前の子を持つ保護者にとつては、幼稚園や学校の情報、そして子育てに関する相談や援助等に関する情報が得られ、また保護者同士の交流が図られるなど、貴重なコミュニケーションの場として有効活用されています。

また子どもたちは、集団の中で年齢や性格の異なる子と交わることによって、社会性や道徳性を身に付けてゆきます。そのような交流ができる児童館は、子どもたちの健全な発育にとって必要不可欠な施設だと考え要望します。

### ②公園、水遊び場の整備の要望

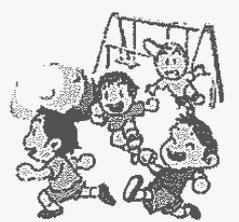
岩舟地域には総合運動公園がありませんが、園内には遊具がなく、子どもたちの遊べる場所はありません。一定規模の宅地開発に伴い、法令に基づいて開発業者が設置し

た公園もいくつかありますが、いずれも面積が狭く、遊具もな  
いため、単なる  
ゴミ収集所としてしか利用されて  
いません。

多くの保護者は、身近に子どもを遊ばせるのに適した公園がないため、自動車に子どもを乗せ、地域外にある公園まで移動して遊ばせているような状況です。是非とも多種多様な遊具が充実し、子どもたちが笑顔で思い切り遊べるような公園の整備を要望します。

また、夏の遊び場として、地域内には就学前の子どもが水遊びのできる場所がありません。

プールのような大規模な施設建設は、多額の費用が掛かり、実現が難しいと思いますので、人工的な泉や小川などが配置された水遊びのできる場所があれば、子どもたちや保護者が夏の暑さを楽しむこともできると思いますので、水遊び場の整備についても併せて要望します。



在公民館内にある図書室が利用されていきますが、他地域の図書館と比べて蔵書数も少なく、CDやDVDといった視聴覚資料も取り扱っていないので、利用者は多くないようです。

また、運営面でも専門的な知識を持つ職員がおらず、単に本の貸し出し業務を臨時職員が行っているという状況です。

地域住民の知的欲求を満たし、文化的で潤いのある生活ができるよう、蔵書数や運営面において内容の充実を要望します。

## 9 消防団員の確保について

岩舟地域の消防団でも新たな団員の確保が非常に困難になっています。

日頃の予防活動をはじめ、火災や地震等の災害発生時に地域住民の支えとなる消防団は、地域の防災力を高める上で重要な役割を担っており、今後も組織の充実・強化を支援する必要があります。行政も積極的に取り組むことを要望いたします。

## 8 図書室の充実について

岩舟地域には図書館がなく、現

